



「明石の学校とため池」～ため池が学校の敷地に～

本校(明石西高校)の南にあるため池は、北側が真っ直ぐな道路で南側に弧を描くように変わった形をしています。「このため池ははじめからこのような形をしていたのだろうか」と疑問に思って昔の5万分の1の地形図(左 昭和36年)と最近の地形図(右 平成9年)を比べてみました。



明石西高校は昭和51年に創立した学校です。右の平成9年の地形図には、学校が2つあり、左の学校が明石西高校、右の学校が二見中学校です。その右に現在は二見西小学校と二見西幼稚園がありますが、この時は池でした。

左の昭和36年の地形図には、池が3つ連なって記載され、一番左(西)の池が大池、中央が中の池、右(東)が今池です。明石西高校は大池の大部分を埋めてできました。現在大池は南側の一部が残っています。中の池を埋めてできた二見中学校の敷地の西北に「西二見水利組合溜池及び水路改修 記念碑」(昭和57年4月建設)が建っています。



【記念碑の文面】 西二見水利組合が維持管理する溜池は江戸時代よりはるか以前に築かれたらしいが、その年代は明確ではない。…昭和 40 年頃より我国のめざましい産業経済の発展にともなう農地の宅地化・人口増加等により、当地区においても道路・教育施設の新設拡充にせまられ、溜池の廃止転用を余儀なくされた。…廃止された溜池は、中の池 307 アールが二見中学校用地に、大池の大半 530 アールが明石西高等学校および二見土山線産業道路用地に、今池および今池の小池の一部 116 アールが新幹線と明姫幹線道路用地に転用され、その合計は 953 アールである。…
昭和 49 年 4 月 1 日 二見中学校移転
昭和 51 年 11 月 1 日 県立明石西高等学校移転



平成16年 2.5万分の1

明石市内にある県立高校6校(全日制課程)の内、明石西高校など5校が昭和40年～50年代に池を転用して建設。

○明石南高校:昭和40年に現在地(明南町)に移転

○明石北高校:昭和47年に雑菜池を埋め立て創立



昭和36年 5万分の1 平成9年 5万分の1 明石南高校 西側より



昭和36年 5万分の1 平成9年 5万分の1 明石北高校 北側より

○明石清水高校:昭和55年に覚念池を埋め立て創立

○明石城西高校:昭和59年に下ヶ池の大半を埋め創立



昭和53年 2.5万分の1 平成16年 2.5万分の1 明石清水高校 西側より



昭和53年 2.5万分の1 平成16年 2.5万分の1 明石城西高校 東側より

その他、明石の中学校では二見、江井島、魚住東、高丘、野々池、小学校では二見西(平成10年創立)、錦が丘、沢池、高丘東、高丘西などが池を埋め立てて建設されています。

『明石のため池』(平成20年3月 明石市教育委員会)によると、「全国のため池は約21万(1997年農林水産省)。兵庫県には4万7596あり、その数は全国の22.6%にあたり、県別のため池数では全国1位。第2位は広島県で兵庫県の半分以下の2万910。兵庫県はまさに日本一の「ため池県」、「ため池王国」。兵庫県のなかでも淡路地域、神戸市北部、北播磨、中播磨や西播磨、そして明石市のある東播磨地域に集中。明石市は日本でも有数のため池卓越地帯。ため池の数は年々減ってきており、兵庫県の資料によると、1971年(昭和46)には5万5537、2005年(平成17)には4万3666。明石のため池は、それ以上に大幅な減少の割合。1971年に473、2005年には111。多くは農地が宅地などに転用されるとともに姿を消し、またいくつかのため池が統合されました。」(※地形図の拡大等は任意倍率)